

とても大切なお話 4

敷津小学校 校長 原 雅史



ほんとう べんきょう  
本当に、勉強ってというのはおもしろいものなんです。ゲームや Youtube に負けなくらい。

では、なぜあえてこのタイミングでみなさんに勉強してくださいとおねがいをしているのでしょうか。それは勉強がすきになる、とく意になるためには、「勉強する」しかないからなんです。勉強をすきになるには、勉強することが一番の近道だからです。

「そんなこと言われても、わたし勉強きらいだし…」

「家にいたら、ついスマホやスイッチをさわって勉強できないんだよね…」

このコロナウイルスがはやるまでは、そういう「学びからにげる」こともゆるされたかもしれません。実さい学びからにげたとしても、学校で先生が追いかけて、みなさんを学びの世界にもどすこともできたと思います。しかし今はひじょう事たいで、学校はしばらく始まりません。

いえ ひとり まな む  
家で、一人で学びに向かわないといけな

いのです。  
がっこう しゅくだい おお  
学校から宿題のプリントがきます。大阪市や多くの先生が、じゅ業にかわる動画もつくっています。でも、それらに向かうかどうか、プリントをする、動画を見るかどうか、全部あなたが決めてやらないと、

いけないのです。どんなに先生がプリントをつくっても、それをしなかったら全く勉強になりません。

もちろん、こうちようせんせい しきつしやう  
すべ せんせいがた  
もちろん、校長先生をはじめ、敷津小の全ての先生方は、いつも、いつでもみなさんの学びを全力でささえます。こまったときには全力で助けます。ひじょう事たいせん言で学校が始まってなくても、電話や家庭ほう間でみなさんのなやみを聞いたり、サポートすることはできます。どうぞ、たよってください。

しかし、どれだけ先生方がみなさんのサポートをしても、やはりがっこうが始まっていないので、いつものじゅ業にくらべると、ほんのわずかな力にしかたれないかもしれません。とてもざんねんですが。

だからこそ、いまはみなさん一人一人が、このひじょう事たいせん言を受け止めて、自分で学びに向かうしかないのです。

すこ はなし  
みづか まな たいせつ  
少し、きびしいお話かもしませんが、いまみなさんが、自ら学ぶことの大切さに気づいて、テレビの前からはなれて、スマホ、スイッチを持つ手をえん筆にきりかえて、みなさんが自分の意思で学びに向かつてほしいのです。

(続きはまた次回にお話しします)